


積算

(間接費の紐付け)

複数の間接費の紐付（機械設備）

機械設備工事では、「製作原価」と「据付工事原価」で構成されています。設計書取込後の間接費の設定方法をご説明します。

1. 工場製作の機械設備の紐付け

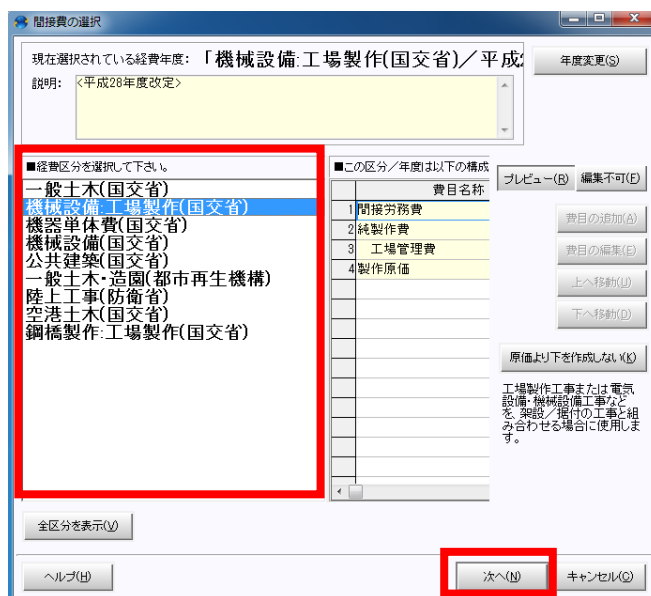
工場製作で直接工事費内の行を選択し、 をクリックします。



費目/工程/種別/細別/規格	単位	数量	単価	金額
間接労務費	式	1		
純製作費	式	1		
工場管理費	式	1		
製作原価	式	1		
据付工	式	1		4,528,028
揚排水ポンプ設備輸送工	式	1		348,000

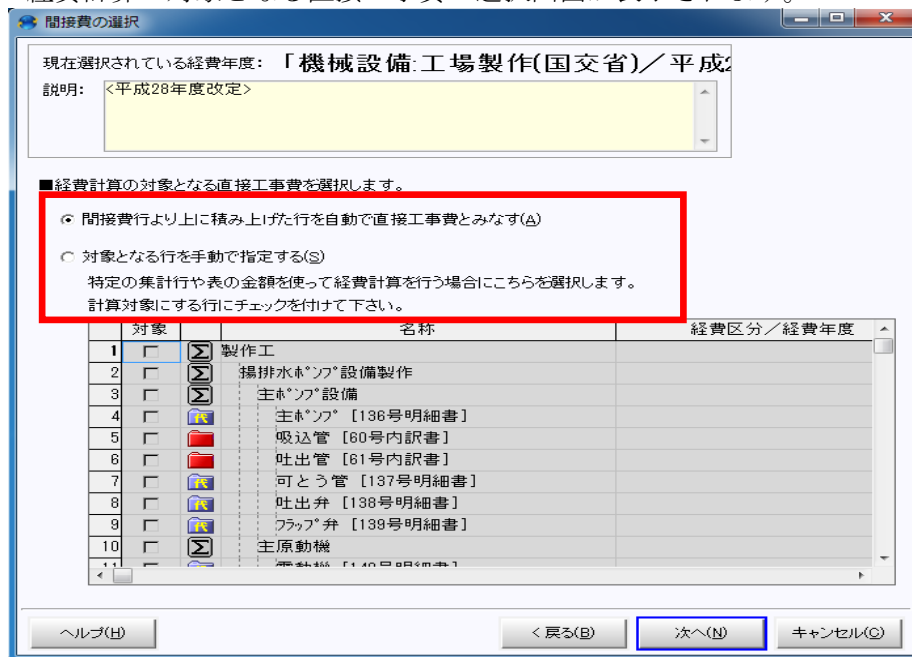
2. 経費区分の選択

「間接費の選択」画面が表示されます。経費区分「機械設備：工場製作（国交省）」をクリックします。右下の「次へ」をクリックします。



3. 経費の対象となる直接工事費の選択

経費計算の対象となる直接工事費の選択画面が表示されます。



以下のいずれかを選択し [次へ] をクリックします。

- 「間接費行より上に積み上げた行を自動で直接工事費とみなす」
→工場製作の間接費項目よりも上に積上げられたものは、工場製作の直接工事費として扱います。
通常はこのまま [OK] をクリックします。
- 「対象となる行を手動で指定する」
→経費計算で特定の集計行や表の金額を使用する場合、計算対象にする行にチェックを付けます。



4. 紐付け設定

「間接費紐付け」画面が表示されます。

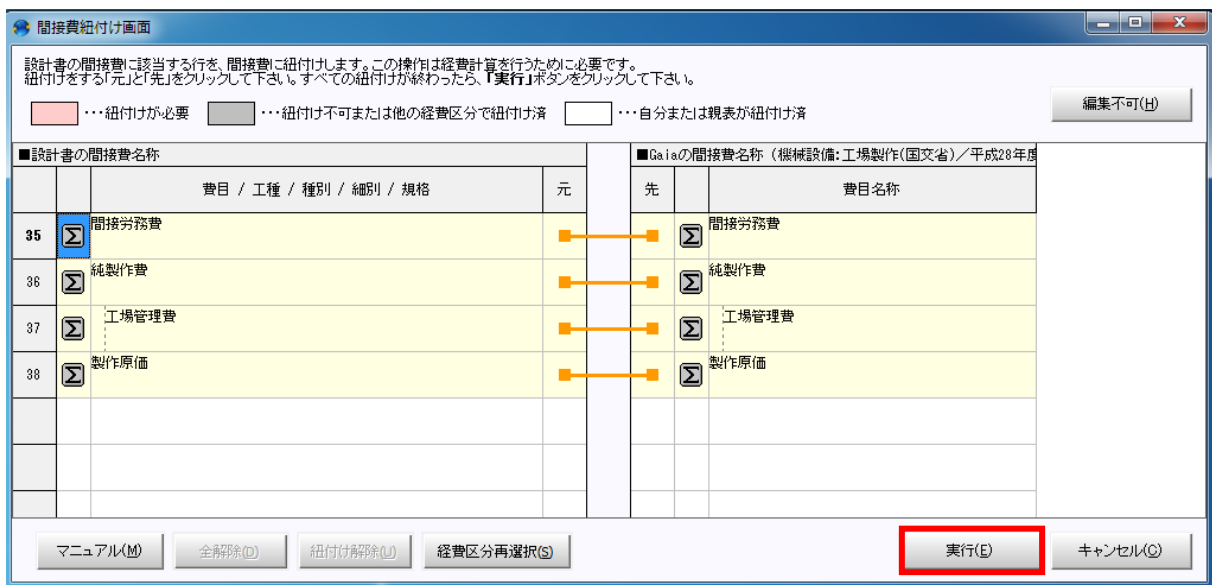
画面左側に取り込んだ設計書の間接費項目、画面右側に Gaia9 の間接費項目が表示されます（赤色の行が、紐付けが必要な行です）。

赤色の行が存在しない場合：


紐付け設定の変更が不要な場合は、そのまま [実行] をクリックします。

赤色の行が存在する場合：

紐付け設定を行ってください。「間接費紐付け」画面の右下[マニュアル]ボタンを押すと、画像付きの手順書が表示されますので、P3-8～P3-11 をご参照ください。



5. 据付の機械設備の紐付けを行う

手順 1.と同様です。機械設備の直接工事費内の行を選択し、 をクリックします。



6. 経費区分の選択

機械設備（国交省）をクリックします。
クリックしたら右下の「次へ」をクリックします。

現在選択されている経費年度: 「機械設備(国交省)/平成28年度」

説明: <平成28年度(平成28年2月)>【平成28年1月31日修正版】
熊本地震等の復旧・復興工事における積算方法等に関する
復興係数補正に対応しました。
・対象工事

■経費区分を選択して下さい

- 一般土木(国交省)
- 機械設備:工場製作(国交省)
- 機器単体費(国交省)
- 機械設備(国交省)**
- 公共建築(国交省)
- 一般土木・造園(都市再生機構)
- 陸上工事(防衛省)
- 空港土木(国交省)
- 鋼橋製作:工場製作(国交省)

■この区分/年度以下の構成

費目名称
1 直接工事費
2 共通仮設費計
3 共通仮設費(積上げ分)
4 運搬費
5 準備費
6 事業損失防止施設
7 安全費
8 役務費
9 技術管理費
10 営繕費
11 共通仮設費(率計上)
12 純工事費
13 現場管理費
14 据付間接費
15 据付工事費

ヘルプ(H) 次へ(N) キャンセル(C)

7. 紐付け設定

「間接費紐付け」画面が表示されます。

画面左側に取り込んだ設計書の間接費項目、画面右側に Gaia9 の間接費項目が表示されます
(赤色の行が、紐付けが必要な行です)。

赤色の行が存在しない場合：

紐付け設定の変更が不要な場合は、そのまま「実行」をクリックします。

赤色の行が存在する場合：

紐付け設定を行ってください。「間接費紐付け」画面の左下[マニュアル]ボタンを押すと、画像付きの手順書が表示されますので、P3-8～P3-11 をご参照ください。

設計書の間接費に該当する行を、間接費に紐付けします。この操作は経費計算を行うために必要です。
紐付けをする(元)と(先)をクリックして下さい。すべての紐付けが終わったら、「実行」ボタンをクリックして下さい。

■設計書の間接費名称

費目 / 工程 / 種別 / 細別 / 規格	元
65 純工事費	
66 現場管理費	
67 据付間接費	
68 設計技術費	
69 工事評価	
70 一般管理費等	
71 工事価格	
72 消費税相当額	
73 工事費計	

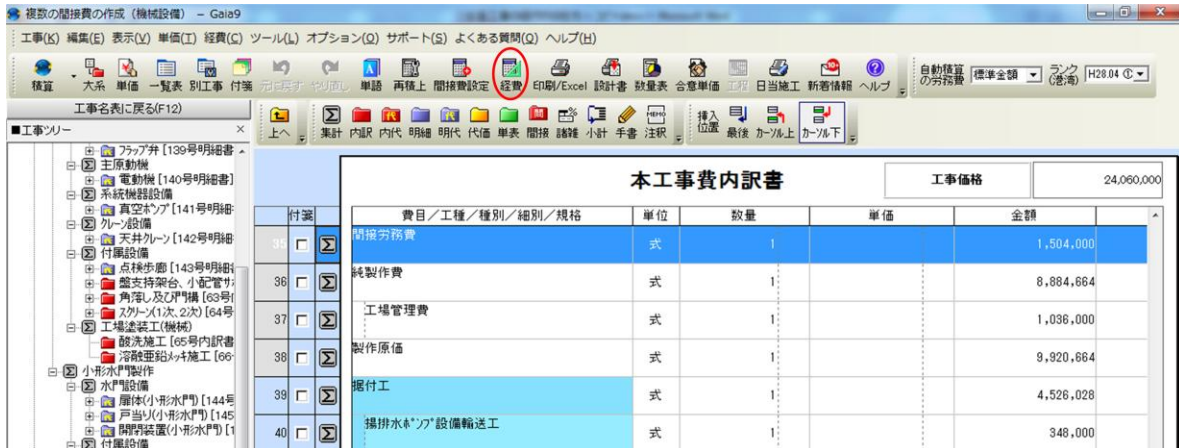
■Gaia9の間接費名称 (機械設備(国交省)/平成28年度)

先	費目名称
1	直接工事費
2	共通仮設費
3	共通仮設費(積上げ分計)
4	運搬費
5	準備費
6	事業損失防止施設費
7	安全費
8	役務費
9	技術管理費
10	営繕費
11	共通仮設費(率計上)

マニュアル(M) 全解除(D) 紐付け解除(L) 経費区分再選択(S) 前の経費区分(B) 経費区分を追加(A) **実行(E)** キャンセル(C)

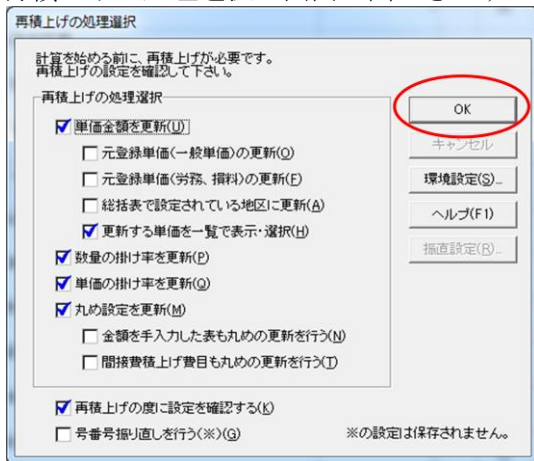
8. 経費計算を行う

ツールバーの  をクリックします。



費目/工種/種別/細別/規格	単位	数量	単価	金額
間接労務費	式	1		1,504,000
純製作費	式	1		8,884,664
工場管理費	式	1		1,036,000
製作原価	式	1		9,920,664
据付工	式	1		4,526,028
揚排水ポンプ設備輸送工	式	1		348,000

再積上げの処理選択の画面が出てきますので、設定を確認し、[OK] をクリックします。



再積上げの処理選択

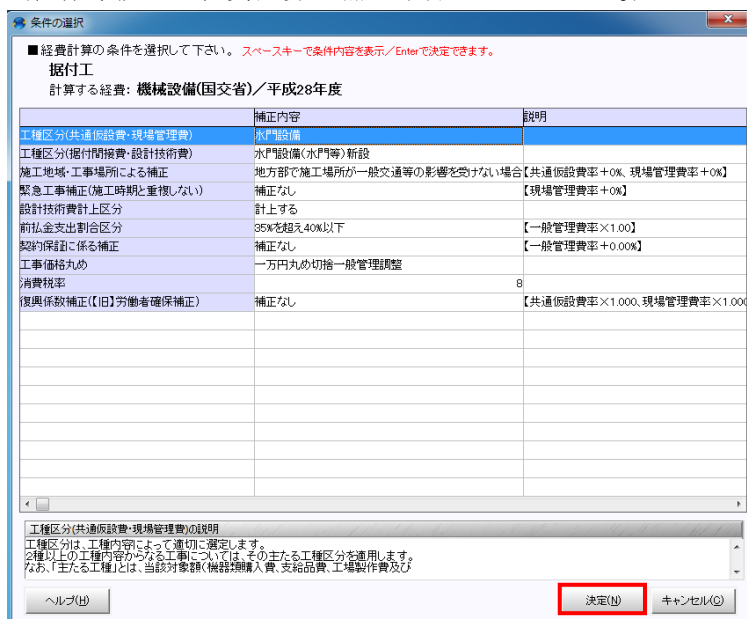
計算を始める前に、再積上げが必要です。
再積上げの設定を確認して下さい。

再積上げの処理選択

- 単価金額を更新(U)
- 元登録単価(一般単価)の更新(O)
- 元登録単価(労務、損料)の更新(E)
- 総括表で設定されている地区に更新(A)
- 更新する単価を一覧で表示・選択(H)
- 数量の掛け率を更新(P)
- 単価の掛け率を更新(Q)
- 丸め設定を更新(M)
- 金額を手入力した表も丸めの更新を行う(N)
- 間接費積上げ費目も丸めの更新を行う(I)
- 再積上げの際に設定を確認する(K)
- 番号振り直しを行う(*) (G)

※の設定は保存されません。

「条件の選択」画面が表示されます。
工種区分、補正内容を確認し、画面右下の [決定] をクリックします。
(製作原価には経費計算の補正条件はありません。)




条件の選択

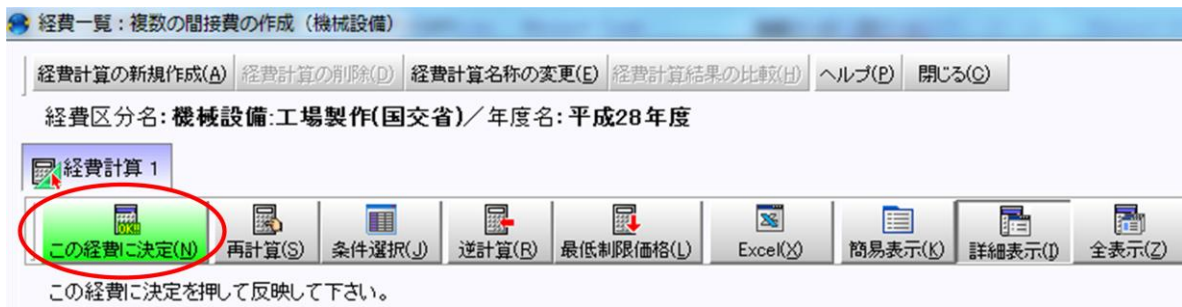
■ 経費計算の条件を選択して下さい。スペースキーで条件内容を表示/Enterで決定できます。

据付工
計算する経費: 機械設備(国交省)/平成28年度

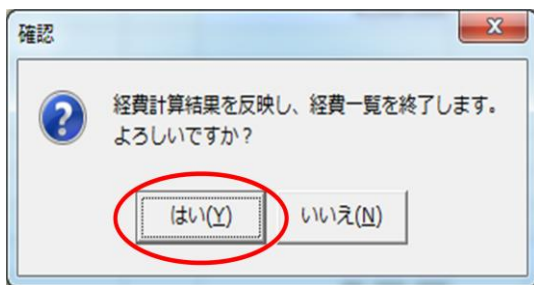
工種区分(共通仮設費・現場管理費)	補正内容	説明
工種区分(共通仮設費・現場管理費)	水門設備	
工種区分(据付間接費・設計技術費)	水門設備(水門等)新設	
施工地域・工事場所による補正	地方部で施工場所が一般交通等の影響を受けない場合【共通仮設費率+0%・現場管理費率+0%】	
緊急工事補正(施工時期と重複しない)	補正なし	【現場管理費率+0%】
設計技術費計上区分	計上する	
前払金支出割合区分	35%を超え40%以下	【一般管理費率×1.00】
契約保証に依る補正	補正なし	【一般管理費率+0.00%】
工事価格丸め	一万円丸め切捨一般管理調整	
消費税率		8
復興係数補正(旧)労働者確保補正	補正なし	【共通仮設費率×1.000・現場管理費率×1.000】

ヘルプ(H) 決定(N) キャンセル(O)

「経費一覧」画面が表示されます。経費内容を確認し、 をクリックします。



「確認」画面が表示されますので、[はい] を選択します。



経費が反映され、「本工事費内訳書」画面が表示されます。
金額が反映されているかご確認ください。